

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 加納高等学校 学校運営協議会（ゆめ会議かろう）（第2回）
- 2 開催日時 令和4年 9月 2日（金） 10：30～12：00
- 3 開催場所 加納高等学校 校長室
開催にあたり、委員による文化祭参観を実施した
- 4 参加者 会長 尾関孝彦 元県立高等学校校長 同窓会参与
中山道加納宿保存会会長
副会長 佐藤昌宏 元岐阜大学教育学部美術教育教授
委員 岩田百里 PTA会計
中村規子 ナーシングケア加納 施設長
志知正博 加納西自治会連合会副会長
水野律子 加納まちづくり会会長

学校側 高橋宗彦 校長
大平隆司 教頭
杉山晴美 教頭
大前幸弘 事務部長
山田茂雄 教務部長
武藤芳紀 総務部長
大野超子 総務部担当

5 会議の概要（協議事項）

（1）生徒、保護者アンケート結果について

意見1：コロナ禍の中で様々な問題によく対応していただいた。今年度は生徒がのびのびと活動できる機会が増えていることがアンケートにも表れている。

意見2：全体的にポイントが上がっていて、学校への信頼が高まっている。設備について対応は難しいと思う。

意見3：「生徒の悩みについて担任以外の相談窓口を設け、その利用について十分知らせている」という項目について、「あてはまる」と答えているのが、生徒は84%で昨年より10%以上増えているのに、保護者は56%で昨年とあまり変わらない。学校のことが保護者に伝わっていないと感じる。

意見4：生徒の悩み相談について、よく対応しているが、先生も大変だと思う。持続的なフォローはどのようなことがなされているのか。

⇒悩んでいる生徒は多い。スクールカウンセラーは常駐ではなく、教育相談担当の職員も授業のため常に在室というのは難しい面がある。そうした状況を踏まえ、今年度からスクール相談員を週2日配置し対応にあたっている。

意見5：「学校からの連絡文書等は、保護者に届けている」という項目について、生徒は93%、保護者も85%が「あてはまる」と答えている。家庭への連絡はきちんと届いていると感じる。

意見6：難しいとは思いますが、体育大会が復活できたらよいと思う。

意見7：全体的に、保護者の「あてはまる」の割合が生徒より低い。

⇒保護者は「よくわからない」の割合が大きい。保護者に学校のことが伝わっていないことについて、特に「よくわからない」割合が多い項目について点検し、改善を図っていく。

(2) 自動販売機設置に関する進捗状況について

意見1：他に設置している県内の高校はあるか。

⇒食品の自動販売機を設置している高校は、県内にはない。

(3) その他

意見1：地域研究部の活動結果を、冊子等の成果物にできるとよい。加納のこと、岐阜のことを、もっと多くの一般の人に知ってもらい、後世にも伝えたい。郷土愛にもつながる。

意見2：3年生の劇は、高校生と思えないほどすばらしかった。子どもたちが楽しそうに協力し合っている姿が印象的だった。準備期間も少ない中、制約が守られつつも個性が出ていた。

意見3：1人ではできないことを、知恵を出し合い協力して成し遂げる過程が、将来のためによい経験になる。

6 会議のまとめ

本日得られた、貴重な意見・助言は、職員会議等で全職員に伝え、今後の本校の教育に生かしていきたい。